



大会名 第40回 全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦

大会期間

令和3年7月8日(木)～11日(日)



公式試合記録

試合番号	試合日	試合時間	プール/回戦	会場
M5	令和3年7月9日	12:40	男子2回戦	立命館OICフィールド

チーム名 8	合計 3 - 0	チーム名 7
朝日大学	1 Q 1 - 0	慶應義塾大学
	2 Q 0 - 0	
	3 Q 0 - 0	
	4 Q 2 - 0	
	S O -	

先発	背番号	氏名	G	▲	Y	●	R
✓	1	北河 拓実(GK)					
✓	2	山田 匠(C)					
✓	4	松本 幸也					
✓	5	野田 育臣					
✓	6	後藤 新					
✓	7	北村 柊希					
✓	8	川崎 龍人					
4	9	田中 玲也					
✓	10	丹羽 巧磨					
✓	11	長崎 隼人					
7	13	秋吉 洸希					
7	14	横山 公一					
55	15	鈴村 亮介					
24	16	山崎 和樹					
✓	18	秋吉 信宏					
✓	19	福本 敦史					
4	20	布施 亮太					
53	21	藤原 陸人					
53	22	石田 越弥(GK)					
7	25	松本 聖					
4	26	富田 善都					
20	29	吉泉 辰哉					

先発	背番号	氏名	G	▲	Y	●	R
✓	1	小川 隼弥					
✓	2	小川 慶人(GK)					
✓	3	飯室 隼(C)					
✓	4	中山 正暉					
✓	6	坂巻 直都					
✓	7	藤代 茜利					
✓	9	村上 慧					
7	10	齋木 壮之介					
✓	11	田畑 智哉					
51	12	渡 啓太					
5	14	辻井 凱武					
✓	15	福田 洸輔					
✓	16	池田 拓未					
	17	割石 翔太					
✓	19	大島 樹					
	20	安部 優志					
	21	竹之内 慧					
11	22	福島 諒太					
	23	小林 翼					
	24	北村 玲					
	26	澁谷 友輝(GK)					
5	30	森 翔平					

監督	長屋 恭一
アンバイア	小林 哲也
R.アンバイア	我妻 順子
S.アンバイア	
ジャッジ	大上 あずさ
T O	奥田 好廣

監督	山崎 智雄
アンバイア	戸塚 洋介
S.アンバイア	
ジャッジ	西田 啓
ジャッジ	丸山 久來里
特記事項:	

時間	No.	種類															
7	11	FG															
51	10	PC															
52	25	FG															

種類：FG = フォールゴール, PC = ペナルティコーナー, PS = ペナルティストローク

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	S O戦	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
No.												先:後	No.											
結果												守備者	結果											

結果：○ = ゴールイン, × = ノーゴール, ※ No./No. = ペナルティストローク

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	S O戦	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
												3巡目												
												4巡目												

第3試合 12:30～ 男子準々決勝戦 立命館OICフィールド

朝日大学 3  $\left( \begin{array}{ccc} 1 & 1Q & 0 \\ 0 & 2Q & 0 \\ 0 & 3Q & 0 \\ 2 & 4Q & 0 \end{array} \right)$  0 慶應義塾大学

5 PC 3  
14 シュート 8

<p>得点</p>	<p>朝日大学→7分長崎、51分丹羽、52分松本</p>		
<p>戦評</p>	<p>2021年7月9日(金)、全日本大学ホッケー王座決定戦、朝日大学vs慶應義塾大学の試合が、雨天の中、OICフィールドにて行われた。慶應義塾大学のセンターパスにより、第1Qが開始された。開始早々慶應義塾大学が攻め込み得点のチャンスを掴むも、朝日大学#1北河の好セーブにより得点には至らない。7分、朝日大学#11長崎がプッシュシュートを決め、先制点を挙げる。第2Q13分、慶應義塾大学#19大島がPCを獲得するも得点には至らず、1-0のまま第1Qが終了した。朝日大学のセンターパスにより、第3Qが開始された。8分、慶應義塾大学がPCを獲得するも、得点には至らない。両チームともに得点を許さない一進一退のゲーム展開となった。第4Q4分、朝日大学がPCを獲得し、シュートを放つも、慶應義塾大学の堅い守備に阻まれる。6分、再び朝日大学がPCを獲得し、#10丹羽のシュートで追加点を挙げる。続けて7分、朝日大学#25松本がリバウンドボールを上手く放ち、3-0とする。試合終了間際、慶應義塾大学が懸命な攻撃を見せるも得点には至らない。そのまま試合が終了し、朝日大学vs慶應義塾大学の試合は、3-0で朝日大学が勝利した。</p>		
<p>テクニカルオフィサー ジャッジ</p>	<p>奥田 好廣 西田 啓</p>	<p>アンパイア</p>	<p>小林 哲也 戸塚 洋介</p>